

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12422	科 名	インダストリアルマニファクチャリング科2年	単 位	14単位
科目コード	01510	科目名	アパレル造形	授業期間	(通年)

担当教員(代表): 吉村 香	共同担当者: なし
----------------	-----------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

人体の構造や運動機能を視野に入れ、素材の特性を活かした作品を平面裁断・立体裁断のテクニックにより個々のデザインの発想力と表現力を身につける

- ・アパレル造形 論 前期1単位 後期1単位
- ・アパレル造形演習 デザイン 前期2単位 後期2単位
- ・アパレル造形演習 ドレーピング 前期1単位 後期1単位
- ・アパレル造形演習 実技 前期3単位 後期3単位

- 1、立体裁断Ⅰ 24コマ(前期)スカート、胸ぐせダーツ
- 2、シーズン表現Ⅰ 34コマ(前期)作図理論、デザイン、パターン、実物製作、レポート
*一重アウターでのセットアップ
- 3、バザー作品 30コマ(後期)文化祭バザー作品、グループ製作
- 4、シーズン表現Ⅱ 47コマ(後期)作図理論、デザイン、パターン、実物製作、レポート
*ウール・皮革を使用したセットアップ
- 5、立体裁断Ⅱ 10コマ(後期)ブラウス
- 7、修了製作 54コマ(後期)作図理論、デザイン、パターン、実物製作、レポート

評価方法・対象・比重

- ・アパレル造形論…筆記試験、レポート
- ・ドレーピング…提出物、実技試験
- ・デザイン・実技………製作物

主要教材図書 服飾造形講座 スカート・パンツ、ブラウス・ワンピース、ジャケット・ベスト、コート・ケープ
高級素材、特殊素材、立体裁断 基礎編

参考図書 織研新聞、WWD、情報誌、コレクション

その他資料 参考作品、プリント

記載者氏名 吉村 香

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12422	科 名	インダストリアルマーチャンダイジング科2年	単 位	2単位
科目コード	16010	科目名	マーチャンダイジング論Ⅰ	授業期間	通年（ ）

担当教員(代表)：澤住 倫子	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

I. マーチャンダイジング入門（2コマ）… 講義

- ① オリエンテーション ファッションマーチャンダイジングの概論
- ② デザインとは 人間とファッションの関係とクリエイション活動について

II. ファッション情報分析（16コマ）… 講義・演習

- ① コレクション分析におけるデザインコンセプトを探る
- ② ファッションキーワードの理解
- ③ ファッション予測情報の入手と把握

III. 市場調査の手法（4コマ）… 講義・演習

- ① 店頭情報の把握
- ② 商品情報の収集と分析

IV. 商環境比較調査（4コマ）… 講義・演習

- ① 新規ファッションブランド立ち上げに伴う出店エリアの比較調査、分析

評価方法・対象・比重
製作物と出席日数（7:3）

主要教材図書 服飾図鑑・ファッション情報誌・ファッションキーワードなど

参考図書

その他資料 教材専用プリント類・リソースセンター映像ルームコレクション映像など

記載者氏名 澤住 倫子

科コード 12422	科 名 インダストリアルマーチャンダイジング科 2 年	単 位	1
科目コード 42200	科目名 生産管理概論	授業期間	前期

担当教員(代表) : 北村 都美子・	共同担当者 :
--------------------	---------

概要（教育目標・レベル設定など。200 字以内で記入してください。HP 等に引用し、公開します。）

アパレル産業界の各部署の役割、仕事の流れ方、作品と製品の違い、生産管理の活動について理解する事を目的とする。
生産実務における、問題点と対処法を理解し、縫製仕様書、加工・裁断・芯貼指図書による情報伝達、工程分析表を活用し Q（品質）C（原価）D（納期）の実現を目指す。

安定した品質を実現させる仕組み（標準化）を学び、原価と小売価格との関係について学習する。

授業概要＝テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、
他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

I. ガイダンス（1 コマ）

- ①. 服造と生産の違い
- ②. 生産の仕組み

II. アパレル産業の生産プロセス（1 コマ）

メーカーと工場の各部署の役割と仕事の流れ、関わり方

III. 製造指示書類（3 コマ）

- ①. 加工、裁断、芯貼り指図書、縫製仕様書について
- ②. メーカーから、工場へ業務依頼する際の書類の目的と役割

IV. 工程分析表（2 コマ）

- ①. 基礎（シャツ）
- ②. 工程分析表の構成と役割
- ③. 工程分析の利用方法

V. 品質（2 コマ）

- ①. 品質の種類
- ②. PL 法（製造物責任法）
- ③. 品質検査

VI. 品質の造り込み（1 コマ）

- ①. 標準化への取り組み
- ②. 品質を安定させるための手法

VII. 取引方法（1 コマ）

生産委託の種類と特徴

VIII. 今後の産業動向（1 コマ）

原価の基礎知識

評価方法・対象・比重

出席率・提出物（4 割）＋筆記試験（6 割）

主要教材図書 「アパレル生産管理」「工業用マシン・アイロンの基礎知識」

参考図書 特になし

その他資料 工場 DVD

記載者書名欄 北村 都美子

科コード	12422	科 名	インダストリアルマーチャндаイジグ2年	単 位	2
科目コード	13810	科目名	ニットアパレル造形 I	授業期間	通年

担当教員(代表)：小林 桂子	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など ニットの基礎的概論 及び商品知識を理解し、基礎技術を習得 市場における ニット商品の研究 布帛の知識を基に 異素材とのコーディネート研究
--

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先 ＊ニット概論・・・・・・・・ニットの一般常識（織りと編みの違い・ニットの三原組織・J I S 記号・編成原理・ニット 素材・テキスタイル・器具・用具） ＊ニット原型・・・・・・・・ニット原型と布帛原型の違い（婦人用プルオーバー作図） ＊ニット素材・・・・・・・・編み糸の種類（糸番手について・天然繊維素材・化学繊維素材→サンプル添付） ＊編地・・・・・・・・ゲージ別・素材別（横編み・経編み） ＊ニットアイテム・・・・・・・・セーター・ジャケット・シャツ・ブラウス・ネックライン・カラー・スリーブ・ポケットの 研究 ＊基礎編み・・・・・・・・棒針編み（三原組織・リブの変化・レース・タック・ケーブル 等） ・ 鉤針編み（細編み・中長編み・長編み・長々編み・方眼編み・松編み・基礎形態3種） ＊小物・・・・・・・・帽子・マフラー・ストール・ショール 等の作図 寸法 ＊編地からのデザイン発想・・棒針編み 鉤針編みの編地からデザイン発想 ＊ニット商品解説
--

評価方法・対象・比重 提出課題 出席状況

主要教材図書 ニットの基礎技術 オリジナルプリント
参考図書 小物作品本
その他資料

記載者書名欄 小林 桂子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12422	科 名	インダストリアルマーチャンダイジング科2年	単 位	2単位
科目コード	97521	科目名	自由研究Ⅱa/Ⅱb	授業期間	(通年)

担当教員(代表)： 吉村 香	共同担当者： なし
----------------	-----------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

科の特色の学科や特論で得た知識を活用し応用発展させる

自由研究Ⅱa

- * アパレル造形での課題前に、市場調査しプレゼンテーション形式で発表できるようにまとめる。
- * アパレル造形の課題に効果的なコーディネートに必要なものを制作する。
- * 各細目のショー形式での発表準備や運営実習。

自由研究Ⅱb

- * 夏期休暇課題
- * 冬期休暇課題

評価方法・対象・比重

出席状態・提出物、プレゼンテーション

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者氏名 吉村 香

科コード	12422	科 名	インダストリアルマニシング 科 2 年	単 位	1 単位
科目コード	74000	科目名	コーディネート論	授業期間	後期

担当教員(代表)：木本 晴美	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

ファッションコーディネートに必要な基本知識と様々なコーディネートテクニックを習得することを目標とし、時代への適応力、客観的に捉えたファッションコーディネートの提案能力を養う。

1. ファッションコーディネートの基本的な考え方（1コマ）
2. 素材 柄に視点を置いたコーディネート（2コマ）
 - ・素材の風合い材質感の特徴別コーディネート方法 コーディネートポイント
 - ・様々な柄に視点を置いたコーディネート方法 コーディネートポイント
3. アクセサリーに視点を置いたコーディネート（3コマ）
 - ・外見要素とアクセサリーのコーディネートテクニック
（ネックレス イヤリング メガネ ブローチ 帽子）
4. 体型カバーに視点を置いたコーディネート（3コマ）
 - ・体型観察
 - ・体型カバーを総合的に見る
 - ・体型カバーを部分的に見る
5. コーディネートプランの実践（3コマ）
 - ・ファッションコーディネート実践の説明
 - ・各自テーマに合わせ撮影実習
 - ・スタイリングブック編集 まとめ

評価方法・対象・比重

課題 試験 出欠席

主要教材図書	なし
参考図書	ファッションコーディネートテクニック 演出編
その他資料	なし

記載者氏名 木本 晴美

科コード	12422	科 名	インダストリアルマーチャダイジング科2年	単 位	2
科目コード	61110	科目名	ファッションマーケティング	授業期間	通年

担当教員(代表) : 波多野 辰美	共同担当者 :
-------------------	---------

教育目標・レベル設定など

アパレル業界におけるマーケティング業務の実務を講義と実習により指導し、ファッションマーケティングの基礎知識を習得させる「実学」を目指す。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

(前期)

テーマ マーケティングの概要 講義 コマ数＝6

- ・マーケティングとは
- ・マーケティング発想のデザイン画
- ・ブランディングの方法論
- ・新宿ルミネ市場調査

テーマ ブランドマーケティング実践 実習 コマ数＝8

- ・ブランドのターゲット設定
- ・ターゲットイメージマップ作成
- ・ブランドコンセプト設定
- ・MDマップ作成
- ・ブランドプレゼンテーション

(後期)

テーマ ファッションマーケットの現状と課題 講義 コマ数＝4

- ・ファッションマーケットの流れ
- ・アパレルの生産体制
- ・販路別特性
- ・現状の問題点とその解決案

テーマ ブランドマーケティング実践 実習 コマ数＝8

具体的な商業施設を想定したブランドマーケティング

- ・ターゲット設定と分析
- ・コンセプト設定
- ・イメージマップ作成
- ・生産計画表作成
- ・MDマップ作成
- ・プレゼンテーション

評価方法・対象・比重

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者書名欄

科コード	12422	科名	インダストリアルマーチャндаイジグ科	2年	単位	2
科目コード	53010	科目名	色彩計画 I		授業期間	通年

担当教員(代表)：天野豊久	共同担当者：
---------------	--------

教育目標・レベル設定など

1 年次『服飾デザイン論』で習得した色彩の基礎を発展的に学習する。

配色やイメージ表現などの基本的な色彩スキルをトレーニングしたのち、コンセプト策定からプレゼンテーションまでの色彩計画の考え方を演習を通して学習する。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- 概論 ファッションにおける色彩の役割／色彩の基礎(復習) 〈講義および演習 1 コマ〉
- カラーデザインと配色
 - 基調色と配合色
 - ファッションカラーコーディネーション
 - フォ・カマイユ／トーン・オン・トーン／トーン・イントーン／トータル
 - ナチュラル・ハーモニー／コンプレックス・ハーモニー
 - 無彩色の配色
 - 配色の分析 〈講義および演習 10 コマ〉
- 色彩心理
 - 色彩の心理的効果 興奮色／沈静色／視認性・誘目性
 - イメージと配色
 - 季節、ファッションイメージと配色
 - 色彩によるイメージ表現 〈講義および演習 4 コマ〉
- 色彩とコミュニケーション
 - カラーシステムとカラーコード
 - 色名 慣用色名と系統色名 〈講義および演習 3 コマ〉
- 産業と色彩
 - 流行色の仕組みと流行色情報／流行色の変遷
 - 商品の色彩 〈講義 2 コマ〉
- 色彩計画
 - 情報収集と整理・分析
 - カラーコンセプトの策定とカラーパレットの作成
 - カラーデザインと配色計画
 - プレゼンテーション資料の作成 〈講義および演習 10 コマ〉

評価方法・対象・比重

前後期試験の得点、および提出物の評価を総合的に評価し、出席など授業態度を加味して最終評価とする。

主要教材図書 文化ファッション体系『服飾デザイン』(文化出版局)

参考図書 特になし

その他資料 Color Chart、ペーシックカラー 140

記載者書名欄 天野豊久

2015 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部 1

科コード	科 名 インダストリアル マーチャンダイジング科 2年	単 位	2
科目コード	科目名 ファッションデザイン画Ⅱ	授業期間	通年

担当教員（代表）： 水野雅己	共同担当者：
----------------	--------

教育目的・レベル設定など

ファッションデザインの基礎から商品企画提案をデザイン画にしてファイル化とプレゼンテーションすること。
画力育成には自分に合った表現を自ら見つけ出そうとする力を養い、独自のデザイン画トレーニング方法を見つける。

授業概要＝テーマ

前期 1～3

- (3) アンダーウェア／スィムウェア
人体のプロポーションを把握し、角度と動きを立体的に描く表現技術を習得する
- (4) 画材研究／素材と柄表現 マーカーで描くデザイン画
マーカーの使い方、マーカーに適した柄表現
- (6) アイテム研究 アイテムの歴史から現代のデザイン発想・シーズン展開
ポーズと着装の関係（シワ・ドレープ）

後期 4～6

- (5) ファッションデザインワーク
1つのテーマ設定の基 4 スタイルのデザインをスタイル画表現・アイテム製品図をイメージボードにまとめる。
- (6) 修了作品／校内ファッション画展
これまで習得した技術の成果をまとめる
- (2) デザイン発想と展開 デザインポイント A に対して B.C.... と衣服のデザインに展開

評価方法・対象・比重

作品、学年末試験、出席状況

主要教材 文化ファッション大系 服飾関連専門講座④ ファッションデザイン画

その他資料 オリジナルテキスト

記載者署名欄 水野雅己

科コード	12422	科 名	インダストリアルマーチャンダイジング科2年	単 位	1
科目コード	40000	科目名	アパレル品質論	授業期間	後期

担当教員(代表)：吉村 とも子	共同担当者：
-----------------	--------

教育目標・レベル設定など アパレル製品の品質管理に関わる、テキスタイルやアパレル製品の品質基準、評価法、品質表示法、その他法規制、取扱い方法などを講義・演習・実習などを通して学習する。また、テキスタイル・アパレル製品の品質評価機構を見学し社会環境及び消費性能を意識したアパレルの企画、生産、販売などに学んだ知識がいかせるよう指導したい。
--

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）	
1. アパレルと品質 ・アパレルに求められる品質 ・アパレルの製造工程管理 ・一般的品質管理の実施法、分析法 ・テキスタイルの品質評価法、および基準	講義 1 コマ
2. アパレル製品の品質表示と法規制 ・義務表示 ・任意表示 ・関連する法規制	講義 3 コマ
3. アパレル製品の取扱い ・耐洗濯性：ウエットクリーニングとドライクリーニング など ・特殊クリーニングについて ・保管 ・染色堅牢度実験 ・寸法変化率実験 ・耐薬品性（しみ抜き実験） ・特徴のある素材とその取扱い方法	講義及び演習 7 コマ
4. アパレル製品の保証とクレーム ・商品の保障とクレーム対策 ・クレーム事例	講義 1 コマ
5. 一般財団法人 日本繊維製品品質技術センター見学	見学 1 コマ
計：13 コマ	

評価方法・対象・比重 試験を主に、レポート、出欠状況を総合評価

主要教材図書 文化ファッション大系服飾関連専門講座②アパレル品質論文化服装学院編 文化出版局発行
参考図書
その他資料

記載者書名欄 吉村とも子

科コード 12422	科 名 インダストリアルマーチャンダイジング科2年	単 位	2
科目コード 20220	科目名 アパレル素材論Ⅱ	授業期間	通年

担当教員(代表)：野口 美千代	共同担当者：
-----------------	--------

教育目標・レベル設定など

完成度の高いアパレル製品をつくるには、素材の特性を最大限に引き出す必要がある。1年次のアパレル素材論Ⅰでは、繊維、糸、布地の基本的な知識を学習した。2年次では、講義、実験・実習を通し、布地の性能・風合い、テキスタイルの産地等、アパレル素材に関し、より深い知識を習得する。

授業概要

1. テキスタイルの構成要素・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7コマ
 テキスタイルの構成要素、各種の繊維の布地について解説。(講義・実習)
 新素材・機能性素材等の解説。(講義・実習)
2. 布地の風合い表現・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2コマ
 各種布地の風合い表現方法を解説。(講義・実習)
3. 布地の性能実験・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1コマ
 布地の基本性能を解説。(講義・実習)
4. 布地の産地・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1コマ
 織物産地を解説。(講義・実習)
 ニット産地を解説。(講義・実習)
5. ニットの布地・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1コマ
 各種のニットの布地に関して解説。(講義・実習)
6. 東京都立皮革技術センター見学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1コマ

評価方法・対象・比重

前期末試験、レポート課題、授業姿勢、出席状況の総合評価

主要教材図書

文化ファッション体系服飾関連専門講座① 「アパレル素材論」文化服装学院編 文化出版局

参考図書「ワークブック アパレル素材論」文化服装学院編 教科書出版部

その他資料 「テキスタイルファブリック」文化学園事業局

記載者書名欄 野口美千代

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12422	科 名	インダストリアルマーチャライジング科 2 年	単 位	2 単位
科目コード	92400	科目名	デザイン文化	授業期間	通年

担当教員(代表)：菊田 琢也	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

近代デザインの歴史と理念を踏まえ、現在のエディトリアル、グラフィック、ショップ空間、衣服などにおけるデザインの意味と役割について具体的に考察する。また、芸術、建築、写真、映画、音楽、広告などファッションに隣接する文化領域について学び、その関連性を知ること、ファッション文化への理解を深めることを目的とする。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	イントロダクション：近代デザインの定義と理念	16	写真とデザイン② ファッション写真の歴史(後)
2	工業化社会と近代デザインの萌芽	17	カウンターカルチャーとデザイン：モッズ、ヒッピー、パンク etc.
3	ファッション・システムの成立とデザイナーの自立	18	雑誌とデザイン② スタイル誌：『i-D』と『THE FACE』
4	広告デザイン① 近代都市と広告の誕生	19	ポストモダンについて考える
5	ジャポニズムとデザイン	20	日本人デザイナーの仕事：三宅一生、川久保玲、山本耀司
6	アール・ヌーヴォーからフォーティズムへ	21	ミニマリズムとデザイン：ジル・サンダーとミウッチャ・プラダ
7	ガブリエル・シャネルとデザイン	22	クール・ブリタニアにおけるファッション：ジョン・ガリアーノとアレキサンダー・マックイーン
8	写真とデザイン① ファッション写真の歴史(前)	23	アントワープ・ファッションとデザイン：メゾン・マルタン・マルジェラにみるブランド戦略
9	アートとデザイン① イタリア未来派、ロシア構成主義、キュビズム	24	クリエイティブ・ディレクターとは何か：マーク・ジェイコブスとルイ・ヴィトン
10	アートとデザイン② シュルレアリスム	25	広告デザイン② ブランド広告の仕組み
11	戦争とデザイン	26	雑誌とデザイン③ ファッション誌の現在
12	クリスチャン・ディオールとデザイン	27	空間とデザイン① 建築デザイン史
13	雑誌とデザイン① アート・ディレクション：『ヴォーグ』と『ハーバース・バザー』	28	空間とデザイン② ショップ空間とインテリアデザインの現在
14	1960年代のデザイン：スペース・エイジとスウィギング・ロンドン	29	
15	アートとデザイン③ アンディ・ウォーホルとポップアート	30	

評価方法・対象・比重

出席、授業態度を重視する。学期末にレポートを提出してもらい、最終的な評価を判断する。

主要教材図書

毎回、プリントを配布する。

参考図書 高島直之監修『デザイン史を学ぶ クリティカル・ワーズ』フィルムアート社 2006

その他資料

記載者氏名

科コード	12422	科 名	インダストリアルマーチャライジング 2 年	単 位	2 単位
科目コード	56210	科目名	グラフィックワーク I	授業期間	通年 ()

担当教員(代表)： 加藤正人	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

ファッション産業におけるグラフィックの役割と有効性を理解し、ファッション表現のツールとしてパーソナルコンピュータ及び、グラフィックソフトを使う能力を身に着けると同時に、各自の企画デザイン力及びプレゼンテーション能力の習得、向上を目標とする。デジタルファッション画、トレンドマップ、ロゴデザイン等の製作を通してグラフィックソフトの基礎技法習得を目指す。

授業概要

(1) パーソナルコンピュータの基本操作 (0.5コマ)

- ・ハードウェアの操作/コンピューター本体、マウス、キーボード、モニター等
- ・OSの操作、ファイルの管理、文字入力

(2) Adobe Illustratorの基本操作 (7.5コマ)

- ・Illustrator、ドローソフトの基礎知識
- ・各種ツール、パネル、メニューの操作
- ・描画、加工、編集の基礎技法

(3) Adobe Photoshopの基本操作 (1コマ)

- ・Photoshop、ペイントソフトの基礎知識
- ・各種ツール、パネル、メニューの操作
- ・描画、加工、編集の基礎技法

(4) デジタルファッション画の製作 下絵取り込み～修正～着色～完成 (5コマ)

- ・Photoshopによるファッションデザイン画の製作
- ・下絵のスキャニング
- ・下絵の修正
- ・着色、陰影、立体感の表現
- ・カラーバリエーションの製作
- ・レイアウト、まとめ

(5)トレンドマップの製作 (6コマ)

- ・トレンドマップについて
- ・Photoshopによる画像の切り抜き、合成、加工
- ・Illustratorでの編集、構成、レイアウト、まとめ
- ・テーマの設定
- ・リサーチ、素材画像の集め方

(6) ブランドロゴの製作 (5コマ)

- ・ CI (コーポレートアイデンティティ) について
- ・ ブランドロゴの機能と役割
- ・ シンボル、図形、マークのデザイン
- ・ 文字、タイプのデザイン

(7) ブランディングツールのデザイン (5コマ)

- ・ 各ブランディングツールの機能と役割
- ・ 商品下げ札 (プロダクトカード) のデザイン
- ・ 織りネーム (ブランドタグ) のデザイン
- ・ モノグラムのデザイン
- ・ ショッパーのデザイン
- ・ 自由製作

使用ソフト

- ・ Mac OS
- ・ Adobe Photoshop
- ・ Adobe Illustrator

評価方法・対象・比重

提出課題 出席率

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 課題別各種プリント、作例

記載者氏名

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12422	科 名	インダストリアルマーチャンダイジング科2年	単 位	1単位
科目コード	49010	科目名	ファッション特論Ⅰ	授業期間	(通年)

担当教員(代表)： 吉村 香	共同担当者： なし
----------------	-----------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

アパレル産業の現状を先輩の実体験からのアドバイス、そして科の特色に沿った知識として
レギュラー授業に加えたい内容の講義・実習

トレンド変換…1コマ	講師：澤住 倫子 先生
トレンド解説（コレクション情報）…2コマ	講師：向 千鶴 氏・松下 久美 氏
リサーチについて…2コマ	講師：山田 暁博 氏
アパレルの企画から生産…2コマ	講師：関 徹 氏
カットソーの縫製…3コマ	講師：西川 真令 先生
マーチャンダイジングについて…1コマ	講師：范中 聡 氏
販売促進について…1コマ	講師：酒井 英典 氏
アタッシュェド・プレス…1コマ	講師：和田 かおり 氏
エディターの観点…1コマ	講師：須藤 幸恵 氏
ディレクター…1コマ	講師：加藤 智啓 氏

評価方法・対象・比重
出席状態・提出物

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 講師作成資料

記載者氏名 吉村 香

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12422	科 名	インダストリアルマーチャンダイジング科2年	単 位	1単位
科目コード	96100	科目名	校外研修Ⅱ	授業期間	(後期集中)

担当教員(代表): 吉村 香	共同担当者: なし
----------------	-----------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

日本の伝統文化古都(京都、和歌山)に赴き、仏教美術・仏像建造物・庭園などの美に触れる

工場見学・関西の市場調査

研修旅行……(13)

京都・和歌山の寺院と庭園を巡る

関西の市場調査し東京との比較をする

工場見学

評価方法・対象・比重

参加・不参加・研修レポートによる評価

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 研修旅行のしおり

記載者氏名 吉村 香

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12422	科 名	インダストリアルマーチャンダイジング科2年	単 位	1単位
科目コード	98120	科目名	特別講義Ⅱ	授業期間	(通年)

担当教員(代表)： 吉村 香	共同担当者： なし
----------------	-----------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
 アパレル産業の現状を先輩の実体験からのアドバイス、そして科の特色に沿った知識として
 レギュラー授業に加えたい内容の講義・実習

染色について（染色の一般知識と染色実習）…2コマ	講師：太田 繁 先生
ファッション情報とテキスタイル…1コマ	講師：金子 博也 氏
コレクション解説…1コマ	講師：布矢 千春 氏
ブランディング…1コマ	講師：清水 博之 氏
ブランド運営…1コマ	講師：森 崇 氏
企業の販売戦略（資生堂）…1コマ	講師：成田 久 氏
アートディレクター…1コマ	講師：加藤 智啓 氏
キャリア開発…7コマ	講師：森 薫子 氏

評価方法・対象・比重
 出席状態・提出物

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 講師作成資料

記載者氏名 吉村 香

科コード 12422	科 名 インダストリアルマニシング科2年	単 位	1 単位
科目コード 65542	科目名 キャリア開発Ⅱ	授業期間	後期（ ）

担当教員(代表)：森 薫子	共同担当者：
---------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

●志望する就職先に内定するために必要な「総合的就職力」を養う

- ・企業職種研究を通して、仕事の面白さを考え、希望する企業や職種がイメージできるようになる
- ・面接練習などを通してプレゼンテーション能力が高まる
- ・筆記試験

●育成プロセスとして、単なるやり方を伝えるだけでなく、意識させ、繰り返してできるようになるまで行う

【具体的な内容】

1年後期、2年前期に学んだキャリア開発の総仕上げとして、就職活動に必要な力と能力「総合的就職力」を育成。

具体的には、①基本マナーと好感を与えるコミュニケーションスキル、②PDCA サイクル、③企業・職種研究などの2年前期に学んだ就職活動の基本を踏まえつつブラッシュアップさせ、更に以下2点を強化。

② プレゼンテーション能力

②筆記試験対策

あわせて、企業研究・職種研究を通して「仕事の面白さ」を発見し、志望する就職先や職種を見つけ、内定するために必要な力は何かを考え学び実践。

これらの「総合的就職力」を、講義＋ワーク＋実習＋SPI 対策を通して身につけさせる。

全13回、すべての回を通してSPI対策を実施し、後半では、履歴書やエントリーシートを書き、模擬面接(集団・個人・グループディスカッション)も行う。

評価方法・対象・比重

受講態度（個人ワーク及びグループワーク・プレゼンテーション実習）70%＋レポート20%＋課題10%

主要教材図書

- ・キャリア開発 就職対策（第6版）
- ・レジュメ

参考図書 SPI 対策本

その他資料

記載者氏名 森 薫子

その他資料 企業・講師作成資料

記載者氏名 吉村 香

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12422	科 名	インダストリアルマーチャンダイジング科2年	単 位	1単位
科目コード	96812	科目名	コラボレーション b	授業期間	(通年)

担当教員(代表): 吉村 香	共同担当者: なし
----------------	-----------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

科の特色の科目や特論で習得した知識を活用し、外部講師・企業とのコラボレーション活動をグループで参加する

外部講師・企業とのコラボレーションが実現した年度のみ行う

評価方法・対象・比重
出席状態・提出物

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者氏名 吉村 香

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12423	科 名	インダストリアルマーチャンダイジング科	単 位	12 単位
科目コード	01520	科目名	アパレル造形論Ⅱ	授業期間	前期・後期

担当教員(代表)：三田 清美	共同担当者：森山 裕果梨
----------------	--------------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

各自コンセプトに基づいたクリエイション性の高いデザインの表現力を向上させる。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

アパレル造形論	前期 1 単位	後期 1 単位
アパレル造形演習 デザイン	前期 2 単位	後期 2 単位
アパレル造形演習 製作	前期 3 単位	後期 3 単位

- 1、プライベートブランドⅠ（春夏アイテム 一重ジャケットとボトム）35コマ 前期
デザイン・パターン・実物製作・プレゼンテーション
- 2、バザー作品 37コマ 前期・後期
文化祭バザー作品 デザインから販売まで ※グループ製作
- 3、プライベートブランドⅡ（秋冬アイテム）44コマ 後期
デザイン・パターン・実物製作・プレゼンテーション
- 4、立体裁断 26コマ 前期・後期
3面構成のジャケット
4面構成のジャケット
ラグランスリーブコート
※文化ヌードボディ使用

評価方法・対象・比重
制作物・実技試験・出席状況

主要教材図書	ファッション大系・・・スーツ・ベスト コート・ケープ 服飾造形応用編（特殊素材 高級素材） 立体裁断（基礎編 応用編）
参考図書	各種コレクション情報
その他資料	実物参考標本 プリント

記載者氏名

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12423	科 名 インダストリアルマーチャンドライジング科 3年	単 位	単位 1
科目コード 16020	科目名 マーチャンドライジング論 II	授業期間	(通年)

担当教員(代表) : 丹治龍子	共同担当者 :
-----------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

1. アパレル製造業のマーチャンドライジング実務についての指導を行ない、社会に適合したマーチャンダイザー&プランナー、デザイナーを目指す学生の為の教育を行なう。
2. アパレルマーチャンドライジングの発想法、手法、マネージメント、プレゼンテーションについて体系的かつ具体的な実践学習によるスキルを習得。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	前期 : マーチャンドライジング概論/MDの定義	16	コンセプト設計 : ②プロダクトMDの立案
2	既存ブランドから学ぶマーチャンドライジング	17	商品企画 : 市場分析～トレンド分析の流れ
3	ポジショニングによる市場分析について	18	企画MDの基本計画 : ①S/SシーズンMD&コンセプト
4	ターゲット分析の目的とリサーチ	19	②シーズンテーマ&イメージ製作
5	商品企画 : シーズントrendの流れと分析	20	③商品構成立案
6	企画MDの基本計画・①A/Wシーズンコンセプト設計	21	④企画立案
7	②シーズンテーマ&イメージ制作	22	⑤企画検討会
8	③商品構成立案	23	⑥商品展開計画/生産計画
9	④企画検討会	24	生産計画 : 原価計算&価格設定/下代～上代
10	⑤商品展開計画	25	生産計画 : 展示会企画/オーダーシートの作成
11	⑥生産企画	26	プロモーション計画 : 販促計画立案
12	生産MD : サンプル製作フロー : ①生産仕様書	27	シーズン企画プレゼンテーション
13	シーズン企画プレゼンテーションについて	28	
14	後期 : ブランディング戦略について	29	
15	オリジナルブランドのコンセプト設計①市場分析	30	

評価方法・対象・比重

* 試験評価

* 授業の姿勢や態度も評価対象とする

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12423	科 名 インダストリアルマーチャンダイジング科 3年	単 位	単位 1
科目コード 16249	科目名 マーチャンダイジング演習 企画	授業期間	(前期)

担当教員(代表) : 丹治龍子	共同担当者 : 波多野 辰美
-----------------	----------------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

1. アパレル製造業のマーチャンダイジング実務についての指導を行ない、社会に適合したマーチャンダイザー&プランナー、デザイナーを目指す学生の為の実践教育を行なう。
2. 前期には個々で既存ブランドを設定。リサーチによりコンセプト&商品計画を組立て、そのブランドの具体的な企画を立てることにより、ブランドマーチャンダイジングの基礎を習得。より実践的な人材育成を行ない、アパレルビジネスの基礎能力を身につけることを目的とする。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	マーチャンダイジング概論/MDの定義	16	
2	既存ブランド・リサーチ&コンセプトの策定	17	
3	ブランドのポジショニングマップの作成	18	
4	理想のターゲット&実売顧客像の明確化&マップ作成	19	
5	商品企画：シーズントレンド分析のための資料収集	20	
6	企画MDの基本計画・①2016A/Wシーズンコンセプト作成	21	
7	②ファッションテーマの作成	22	
8	③デザイン&マップ作成	23	
9	④企画デザイン検討会	24	
10	⑤アイテム構成作成	25	
11	⑥MDマップ作成	26	
12	生産MD：①生産仕様書作成(ニット&CS, 布帛)	27	
13	A/W企画プレゼンテーション	28	
14		29	
15		30	

評価方法・対象・比重

* 作品評価/既存ブランドによるコンセプトからA/W COLLECTIONまでのコンセプトブック作成資料の評価

主要教材図書

参考図書 トレンド情報誌、ファッション雑誌など

その他資料 カラー&素材資料 他

記載者氏名

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12423	科 名 インダストリアルマーチャндаイジグ科 3年	単 位	単位 2
科目コード 16249	科目名 マーチャндаイジグ演習 企画	授業期間	(後期)

担当教員(代表) : 丹治龍子	共同担当者 : 波多野 辰美
-----------------	----------------

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

○アパレルメーカーの仮想設定によるブランディング過程を実践。グループワークによるブランドの設定。ブランドコンセプト～プロダクトMDの基本構想を計画。それに基づいた具体的なS/S商品企画～デザインを行い、造形授業との連動からサンプル製作までの一貫した実務の学習。コンセプトブックを作成しパワーポイントによるプレゼンテーションを行なうことにより、戦略の組立からコミュニケーション力などの、個々の能力の向上を目指す。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	ブランディングの実践/ブランド計画の実行	16	④デザイン&マップ作成
2	〃	17	⑤企画デザイン検討会
3	ブランドコンセプトの設定/マーケットリサーチの実践	18	〃
4	〃	19	⑥アイテム構成&MDマップ作成
5	基本構想計画/プロダクトMDの立案	20	〃
6	〃	21	生産計画 : ①商品価格の設定/下代～上代
7	商品企画/社会環境&市場・トレンド分析の実行	22	〃
8	〃	23	②展示会企画/オーダーシート作成
9	企画MDの基本計画 : ①2017S/S企画コンセプトの作成	24	〃
10	〃	25	プロモーション計画 : 販売計画立案実行
11	②シーズンテーマ&マップ作成	26	〃
12	〃	27	S/S COLLECTION プレゼンテーション
13	③店頭MD計画立案	28	〃
14	〃	29	
15	④デザイン&マップ作成	30	

評価方法・対象・比重

* 作品評価/ブランド立案によるコンセプトからS/S COLLECTIONまでのコンセプトブック作成資料の評価

主要教材図書

参考図書 トренд情報誌、ファッション雑誌、カラー&素材資料など

その他資料

記載者氏名

2015年度 カリキュラム科目概要

科コード	12423	科 名	インダストリアルマーチャダイジング科3年	単 位	2
科目コード	42400	科目名	生産企画	授業期間	通年

担当教員(代表)： 渡井 邦重	共同担当者：
-----------------	--------

科目概要（教育目標・レベル設定など。200字以内で記入してください。HP等に引用し、公開します。）
 アパレル産業の生産プロセスの内、メーカーにおける生産関連業務の専門知識を習得することを目的とする。
 授業内容はアパレル生産担当者の業務範囲を業界関連図から読み解き、それぞれの分野で発生する各種管理活動について品質（Q）・原価（C）・納期（D）それぞれの観点から体系的に学習する。海外生産の拡大から多様化する生産の現状を理解し、今後のアパレル生産の行方を考慮の上、各自でアパレル製品の生産企画を立案し発表する。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- 1、ガイダンス (1)
 生産管理者の役割 生産管理と生産企画の違い
- 2、生産の形態 (4)
 アパレルメーカー・縫製工場それぞれの業務の流れと管理
 生産管理業務の概要と業務の流れ
 委託生産とOEM/ODMの違い 商社の役割
- 3、生産前準備の実務と管理 (4)
 生産計画と損益分岐点 資材発注
 工場編成と外注管理 工賃設定
- 4、生産実行時の実務と管理 (3)
 指図書発行
 納期管理 物流管理
- 5、生産後処理の実務と管理 (4)
 検査・検品と倉庫業務
 減増産処理と原価管理及び原価計算
 販売価格と原価の関係
- 6、生産企画 (3)
 生産企画書の作成と発表
- 7、海外生産の基礎知識 (2)
 アパレル貿易とは
 世界のアパレル生産拠点 日本の輸出入の現状
- 8、財務の基礎知識 (2)
 財務諸表とは アパレル企業の財務分析の実例
- 9、グループ討議 (2)
 アパレル生産の問題点を協議し、発表する
- 10、今後の生産管理とは (1)

評価方法・対象・比重
 出席率・提出物(20%) + プレゼンテーション(20%) + 筆記試験(60%)

主要教材図書 文化ファッション大系 アパレル生産講座⑪アパレル生産企画
参考図書
その他資料 適宜プリント配布

記載者書名欄 渡井 邦重

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12423	科 名	インダストリアルマーチャンダイジング 科	単 位	1 単位
科目コード	49020	科目名	ファッション特論 II	授業期間	通年

担当教員(代表)：三田 清美	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

商品企画に重要な各情報を中心に、必要な知識を習得する。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- 1、テキスタイル制作 (2 コマ)
- 2、メンズウェア概論 (1 コマ)
- 3、アウトドアウェアの基礎知識 (1 コマ)
- 4、毛皮の基礎知識 (2 コマ)
- 5、ユニフォームの基礎知識 (1 コマ)
- 6、世界の布・織物 (2 コマ)
- 7、舞台衣装の知識 (1 コマ)
- 8、シューズの商品知識 (1 コマ)
- 9、ヴィジュアルマーチャンダイジングの目的 (4 コマ)

評価方法・対象・比重

出席状況

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名

科コード	12423	科 名	インダストリアルマーチャダイジング科3年	単 位	2
科目コード	61120	科目名	ファッションマーケティングⅡ	授業期間	通年

担当教員(代表)：波多野 辰美	共同担当者：
-----------------	--------

教育目標・レベル設定など

アパレル業界におけるマーケティング業務の実務を講義と実習により指導し、ファッションマーケティングの基礎知識を習得させる「実学」を目指す。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

(前期)

テーマ マーケティングの概要 講義 コマ数＝5

- ・マーケティングとは
- ・ファッションマーケットの現状
- ・広義のブランド力とは
- ・ファッションブランド構築の方法論
- ・カセット企画とは

テーマ ブランドマーケティング実践 実習 コマ数＝7

- ・ブランドのターゲット設定
- ・ターゲットイメージマップ作成
- ・ブランドコンセプト設定
- ・MDマップ作成
- ・ブランドプレゼンテーション

(後期)

テーマ ファッション業界の計数管理 講義 コマ数＝4

- ・VMDとSKU管理
- ・アパレル業界の計数管理
- ・売上予算作成からの生産計画
- ・アイテム別生産計画表

テーマ ブランドマーケティング実践 実習 コマ数＝11

具体的な商業施設を想定したブランドマーケティング

- ・ターゲット設定と分析
- ・コンセプト設定
- ・イメージマップ作成
- ・生産計画表作成
- ・MDマップ作成
- ・プレゼンテーション

評価方法・対象・比重

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者書名欄

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12423	科 名	インダストリアルマーチャンダイジニング科3年	単 位	単位 1
科目コード	64000	科目名	VMD	授業期間	()

担当教員(代表)	平山 安芸子	共同担当者:	
----------	--------	--------	--

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 ビジュアルマーチャンダイジングの基礎知識を学び、各ショーイングテクニックを身につけて
 実践(ショーイングディスプレイ)に役立てる。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	VMD概論(講義) 店舗、WD画像投影	16	ハンギングについて(講義、実技)◎ハンギングルール
2	VMD概論(講義) 店舗、WD画像投影	17	ハンギングについて(講義、実技)◎ハンギングルール
3	ボディの使い方(講義、実技)◎着せ方、レイアウト	18	売り場レイアウト(講義、実技)
4	ボディの使い方(講義、実技)◎着せ方、レイアウト	19	売り場レイアウト(講義、実技)
5	ボディの使い方(講義、実技)◎着せ方、レイアウト	20	校外授業(百貨店見学)クリスマスDP
6	マネキンの使い方(講義、実技)◎着せ方、レイアウト	21	校外授業(百貨店見学)クリスマスDP
7	構成の仕方(講義、実技) 雑貨、食器他	22	PPの作り方(講義、実技)◎雑貨他
8	マネキンの使い方(講義、実技)◎着せ方、レイアウト	23	PPの作り片(講義、実技)◎雑貨他
9	マネキンの使い方(講義、実技)◎着せ方、レイアウト	24	まとめ
10	スカーフ、ハンカチの扱い方(実技)	25	卒展アドバイス
11	ネクタイの扱い方(実技)	26	卒展アドバイス
12	校外授業(百貨店見学)	27	
13	校外授業(百貨店見学)	28	
14	商品のたたみ方、置き方(講義、実技)トップ、ボトム他	29	
15	商品のたたみ方、置き方(講義、実技)トップ、ボトム他	30	

評価方法・対象・比重

授業内の実技の出来ばえ、授業態度、出席率の総合で評価する

主要教材図書	文化ファッション大系 ファッション流通講座 8
参考図書	スカーフ・ストール・マフラー日本文芸社 NECK TIE 婦人画報社 他
その他資料	

記載者氏名 平山 安芸子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12423	科 名	インダストリアルマーチャンダイジニング科3年	単 位	単位 1
科目コード	71300	科目名	ショーイングディスプレイ	授業期間	通年 ()

担当教員(代表)：平山 安芸子	共同担当者：
-----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
 ビジュアルマーチャンダイジングの基礎知識を学び、各ショーイングテクニックを身につけて
 実践（ショーイングディスプレイ）に役立てる。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	VMD概論（講義） 店舗、WD画像投影	16	ハンギングについて（講義、実技）◎ハンギングルール
2	VMD概論（講義） 店舗、WD画像投影	17	ハンギングについて（講義、実技）◎ハンギングルール
3	ボディの使い方（講義、実技）◎着せ方、レイアウト	18	売り場レイアウト（講義、実技）
4	ボディの使い方（講義、実技）◎着せ方、レイアウト	19	売り場レイアウト（講義、実技）
5	ボディの使い方（講義、実技）◎着せ方、レイアウト	20	校外授業（百貨店見学）クリスマスDP
6	マネキンの使い方（講義、実技）◎着せ方、レイアウト	21	校外授業（百貨店見学）クリスマスDP
7	構成の仕方（講義、実技） 雑貨、食器他	22	PPの作り方（講義、実技）◎雑貨他
8	マネキンの使い方（講義、実技）◎着せ方、レイアウト	23	PPの作り片（講義、実技）◎雑貨他
9	マネキンの使い方（講義、実技）◎着せ方、レイアウト	24	まとめ
10	スカーフ、ハンカチの扱い方（実技）	25	卒展アドバイス
11	ネクタイの扱い方（実技）	26	卒展アドバイス
12	校外授業（百貨店見学）	27	
13	校外授業（百貨店見学）	28	
14	商品のたたみ方、置き方（講義、実技）トップ、ボトム他	29	
15	商品のたたみ方、置き方（講義、実技）トップ、ボトム他	30	

評価方法・対象・比重

授業内の実技の出来ばえ、授業態度、出席率の総合で評価する

主要教材図書	文化ファッション大系 ファッション流通講座 8
参考図書	スカーフ・ストール・マフラー日本文芸社 NECK TIE 婦人画報社 他
その他資料	

記載者氏名 平山 安芸子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12423	科 名	インダストリアルマーチャンダイジング3年	単 位	単位 1
科目コード	20000	科目名	アパレル素材企画	授業期間	前期 ()

担当教員(代表) :	車 純子	共同担当者 :	
------------	------	---------	--

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

アパレル業界ですぐに役立つ、実践的で総合的な素材知識の習得を目指す。流通の仕組み、素材コストの把握など、素材業界とアパレル業界との関わり合いを理解し、基礎知識の確認に加え、最新素材への見聞を広め、材料としての素材を理解した優秀なマーチャンダイザーの育成を目指す。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	今後の授業内容、進め方、講師の自己紹介、心構えを確認	16	
2	最新素材に触り、工夫を知り、実践的に素材に近づく	17	
3	特殊素材、機能素材に触り、しくみ理解し、知識を増やす	18	
4	流通の仕組みを知り、主な素材企業や産地を総合的に理解	19	
5	素材業界から小売までの、時間の流れ、各々の役割を理解	20	
6	国内外の素材展示会を映像でみて、MDとしての視察疑似体験	21	
7	素材メーカーとの付き合い方、ものづくりの実務を理解	22	
8	グループ実践 無作為な人選から、企画を進める体験	23	
9	素材にこだわったブランドを想定し、商品企画へ	24	
10	素材の最新トレンド情報を知り、商品企画に反映する	25	
11	オリジナル素材の商品企画を実行 現場での質疑から実学	26	
12	企画進行最終チェック なぜから、どうするかへ実学	27	
13	グループ発表。魅力的なツール、ビジュアル、まとめ方	28	
14		29	
15		30	

評価方法・対象・比重

ペーパー試験ではなく授業中のやり取り、姿勢はもちろん、素材に対する視点等から、総合的に判断する。
また後半、グループによる実践的な商企画の過程での、他者との仕事の仕方、素材の扱い、考え方、プレゼン力など評価を最終判断とする。

主要教材図書

参考図書

その他資料 講師が提供する、多くの最新素材を直接触り、作り方を知り、国内外の素材展示会を映像で見る。

科コード	12423	科 名	インダストリアルマーチャンドアイジング3年	単 位	2
科目コード	13820	科目名	ニットアパレル造形 II	授業期間	通年

担当教員(代表)：小林 桂子	共同担当者：御田 昭子
----------------	-------------

教育目標・レベル設定など ニットアパレルの基本的知識と製作技術を習得することにより、素材・編地の特質を生かしニット商品のデザイン発想 ニットアパレル造形 I を基礎とし、家庭用手編み機、手動式手横機を応用し、ニット商品のデザイン発想 ニット商品の仕様書
--

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先 * 家庭用手編み機(4.5ピッチ 片板機) - 家庭用手編み機の構造と各部品説明 ・使用方法と使用上の諸注意 * 基礎編み 家庭用手編み機使用 ① ゲージ差(編み目の変化、ゲージ、ゲージダイヤルを理解する為) ② 三原組織(メリヤス パール リブ)の理解と用具の使用法 ③ 成型のための増減法と引き返し技法(傾斜作成) ④ 変化組織(模様編み各種、レース、タック、ジャカード、インターシャ、片畦、プレーティング J I S 記号の理解 パンチカードによる模様作成 ⑤ 手動式手横機(7G)基礎編み * ニット製品縫製方法 - リンキング * デザイン発想 (素材別、テキスタイル、糸の撚り、太さによる編地の変化) * ニット商品の解説 - リンキング各種 ・仕様書解説 * 工業機概論 - 手編み → 家庭用手編み機 → コンピュータ編み機 * 演習 - 家庭用手編み機基礎 ①～④ - 手動式手横機(7G)基礎編み⑤ - デザイン発想 各種 * 各施設見学 産業技術センター校外授業
--

評価方法・対象・比重 課題提出 出席状況

主要教材図書 ニットの基礎技術
参考図書 ニットの實用知識 オリジナルプリント
その他資料

記載者書名欄 小林 桂子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12423	科 名	IMD 科 3年	単 位	2 単位
科目コード	20400	科目名	テキスタイル造形演習	授業期間	(通年)

担当教員(代表)	野沢彰	共同担当者:	真田玲子
----------	-----	--------	------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

前期:「手織り」を通じて布の構造や特徴を理解することで、アパレルデザインにおけるテキスタイルの可能性を学ぶ。

後期:テキスタイルデザインにおける先染め、後染め、染色仕上げ加工の技法の理解と習得。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	ガイダンス 授業内容 課題説明	16	〃
2	テキスタイル商品 参考作品の紹介	17	スクリーン製版方法 技術習得
3	課題Ⅰ 織の基本を学ぶ	18	捺染技術 後加工(溶解オパール加工)
4	(1) 織機を使い 布地の造形要素を理解する	19	(固着 箔 フロッキー加工)
5	動物繊維(ウール 紡毛)製織	20	テーマコンセプト 素材 技法を考察
6	植物繊維(綿糸)を製織	21	課題Ⅲ オリジナル布作り
7	(2) 素材の表面効果を学ぶ	22	卒制コンテスト向け テキスタイル企画
8	身近な素材を木杣に織り込む	23	習得した技法を駆使し目的に応じた自主制作
9	(3) ニードルパンチフェルト等不織布の構成を理解	24	(サンプル制作からアパレル用素材を制作する)
10	〃	25	〃
11	課題Ⅱ 染色 加工の意義を学ぶ	26	〃
12	染色の基礎知識	27	仕上げ
13	植物繊維の染色 (綿 麻)	28	制作した生地の 発表 プレゼンテーション
14	〃	29	
15	動物繊維の染色(ウール 絹)	30	

評価方法・対象・比重

課題提出物の期限 完成度 及び授業姿勢

主要教材図書

参考図書

その他資料 技法工程 レシピ配布

記載者氏名 真田玲子

科コード	12423	科 名	インダストリアル MD 3 年	単 位	
科目コード	01900	科目名	アパレル造形演習カット&ソー実習	授業期間	2015. 4. 16～2015. 1. 28

担当教員(代表)：西川 真令	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

丸編みカットソーの縫製の基礎的知識と応用 美しいシルエットを作る立体パターンの理解と企業パターンの実践指導、良い服を見る目を養う。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、

他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

講義と実習内容

服を見る目を養う、丸編みのニットジャージー素材の立体裁断基礎知識とカットソー平面作図、 各種ミシンの縫製技術の理解と習得。

カットソー丸編み概論・・・丸編みを中心にしたニット素材のパターン製作と基本的知識の取得。

パリコレや東京コレクションでの豊富な経験と知識の情報伝える

立体パターンの基本知識・・・美しいシルエットの作り方 ダーツ無しのパターンの習得と身頃裾を水平にしたボーダー柄や編み立てリブニットに適した工業パターンの習得と高級感のある縫い方指導を教える。

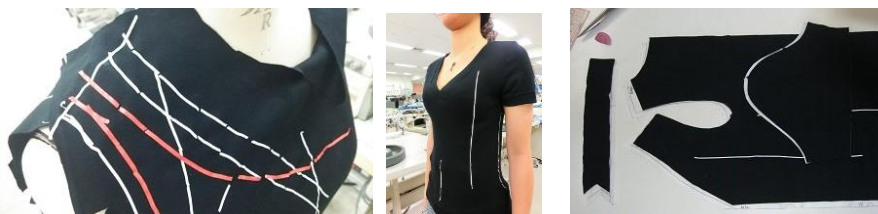
針を使わないで縫い上げる・・・工場管理のマチ針無しで縫い上げる縫製指導

将来を見据えたインクジェットプリントのカットソー・・・PCが出来る企画

アウター、インナー、スポーツウェア、水着など就職拡大・・・カットソーの広がりから下着やスポーツウェアにも関心を持たせ 製品作りで自信を持たせ就職先を広げるようにする。

各種素材の違うデザイン適用・・・伸びの少ない天竺タイプのゆとりのあるパターン、次に収縮が大きいベアニットやフリース、テレコタイプの細身パターンの作り方を 異なった素材の応用で製品の縫製をしながら理解をさせる
カットソーのパターン縫代の付け方も理解させる ハイレベルな縫製技術を理解させ、検針意識を持たせた商品作りを年間通し教える。

立体裁断から



1 回目綿フリースW付けV衿・・・美しいシルエットの立体裁断カットソー服作り W付けのV衿とバインダー・ランニング 縫製の応用として2, 3 本針両振りミシンや各種バインダー、ロック引き(天地)縫い方の取得、

2 回目丸首Tシャツ・・・天竺素材で既製服のゆとりがあるパターン作りと 各種ミシンの体得からオーバーロック 天地 2 本針振りミシン バインダーの使用で基本Tシャツの製品作りの理解

デザインTシャツの基礎となるパターン作り、縫製の基礎知識もある。



3 回目オープンファスナー付けと裏毛パーカー・インクジェットプリント・・・人気のある裏毛パーカー、企業就職を考えインクジェットや転写プリントの実践習得裏毛とリブ使いの理解とフード、ポケット、オープンファスナー使いの縫製技術、インクジェットプリント体験をしながらパターン・縫製と製品作り

4 回目製品染めポロシャツ・・・ポロ衿の編み立てリブと 綿糸縫いの後染め加工の製品作りを実習、男・女前立ての作り方、スリット等体得、ニット用釦ホール、ポロシャツの製品染めは授業にて染色。



1 年間の授業内容は アパレルに就職して即戦力として使えるように 企画、パターン、縫製技術の豊富な知識を教えること。

評価方法・対象・比重

実技評価 S A B C

主要教材図書 雑誌 マイコレクションの幾多サンプル

参考図書

その他資料 パリコレや東京コレクションで製品縫製した素材 やサンプルを参考見本とする

記載者書名欄

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12423	科 名	インダストリアル・マーチャンダイジング 科3年	単 位	単位 1
科目コード	51130	科目名	ファッションデザイン画 III	授業期間	(前期)

担当教員(代表) : 橋本 定俊	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

アパレルデザインの現場で求められる業務内容を課題内容に入れプロへの準備段階と考える。

作品レベルでは新しい企画提案としてテーマ、商品のコンセプト立案からデザイン画、アイテム図

を技術指導のもとファイルとしてまとめる事を目標とする。

- ポーズのバリエーション応用(3コマ)
動きのあるポーズを4スタイル
- デザイン発想1(5コマ)
トレンドからのアイテムデザイン2016秋冬
テーマ設定、デザインソースの基オリジナルデザイン
イメージマップと2点のスタイル画
- オリジナルデザイン研究(6コマ)
テーマの基にオリジナルデザインをスタイル画表現
そのデザインアイテムに合う画材研究
4スタイル以上とアイテム製品図

評価方法・対象・比重

1～3の各課題作品と学年末試験による評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12423	科 名 インダストリアルマーチャндаイジグ科3年	単 位	2 単位
科目コード 56220	科目名 グラフィックワークⅡ	授業期間	(27)

担当教員(代表)：佐谷 眞樹	共同担当者：松尾
----------------	----------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

アドビ・イラストレーターを使っての精密なハンガーイラストの作成及びデザインデータの展開、先染柄やプリント柄の図案作成、バッグやベルト等の小物アイテムの描き方を学ぶ。また、フォトショップを使ってイメージ写真への柄付けや色の置き換え等を学び、イメージマップや企画書製作を習得する。

企画者、デザイナー等に必要ビジュアル・プレゼンテーションの為のデータ作成の習得

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オブジェクトの作成と変形、長方形から身頃を描く	16	バッグ・靴等の小物データ作成
2	シャツを描く=身頃、衿、袖の作成	17	小物やハンガーイラストへの影付け等を学ぶ
3	シャツを描く=ステッチ・ポケットの作成	18	イラストのリアルな描写=現実の素材データをマッピング
4	シャツを描く=肩ヨークや切り替えパーツ作成	19	フォトショップによる柄作成と色展開
5	シャツを描く=フリル・ペブラムの表現	20	写真への色・柄付け
6	シャツを描く=デザインの効果的な展開方法	21	データの編集・レイアウト
7	ジャケット&ボトムを描く(フロント&バックスタイル)	22	企画書作成
8	ジャケット&ボトムを描く(フロント&バックスタイル)	23	企画書作成
9	柄の作成=ストライプ・チェックを作る	24	企画書作成
10	柄の作成=プリント柄&モノグラムを作る	25	企画書作成
11	ハンガーイラストでの商品展開(レジュメ)の作成	26	企画書作成
12	ハンガーイラストでの商品展開(レジュメ)の作成	27	企画書作成
13	ハンガーイラストでの商品展開(レジュメ)の作成	28	
14	バッグ・靴等の小物データ作成	29	
15	バッグ・靴等の小物データ作成	30	

評価方法・対象・比重

課題制作物<スキル及びデザイン・イメージの表現力>・出席率

主要教材図書

参考図書 なし

その他資料 製作手順のデータを配布

記載者氏名 佐谷眞樹

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 インダストリアルマーチャンドライジング科3年	単 位	2単位
科目コード 56200	科目名 グラフィックワークⅡ	授業期間	(27)

担当教員(代表)：佐谷 眞樹	共同担当者： 松尾
----------------	-----------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します） アドビ・イラストレーターを使っての精密なハンガーイラストの作成及びデザインデータの展開、先染柄やプリント柄の図案作成、バッグやベルト等の小物アイテムの描き方を学ぶ。また、フォトショップを使ってイメージ写真への柄付けや色の置き換え等を学び、イメージマップや企画書製作を習得する。 企画者、デザイナー等に必要ビジュアル・プレゼンテーションの為にデータ作成の習得

授業概要＝テーマ（大・中・小）、方法（講義・実習・実験・リサーチ・グループ活動など）、制作物、 テーマ：（大）ビジュアル・プレゼンテーションと美しい企画書の作成といった実務の修得 （中）企画力・展開力・構成力の向上 （小）イラストレーターによるデザイン展開の修得 授業内容：イラストレーターによる商品イラスト イラストレーターによるプリント柄＜送りのある＞の作成 イラストレーターによる小物のイラスト 写真のスキャニングと色付け、柄付け作業 イラストレーターへの写真の配置 イラスト、写真、文字、カラーイメージなどをイラストレーター上に編集した企画書表現 授業方法：生徒の前で実演する 生徒に実習させ、個々の作業をサポートする 学習用のデータを配布 制作物：デジタル・ディレクションマップの作成 使用パソコン及びソフト：imac アドビ イラストレーターCS5 ・アドビ フォトショップCS5

評価方法・対象・比重 課題制作物＜スキル及びデザイン・イメージの表現力＞・出席率
--

主要教材図書
参考図書 なし
その他資料 製作手順のデータを配布

記載者氏名 佐谷眞樹

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12423	科 名	インダストリアルマーチャンダイジング科	単 位	1単位
科目コード	98130	科目名	特別講義Ⅲ	授業期間	通年

担当教員(代表)：三田 清美	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

レギュラー授業には含まれない関連分野の専門知識を習得する。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- 1、就職活動情報 (1 コマ)
- 2、コレクション情報 (2 コマ)
- 3、テキスタイルトレンド情報 (2 コマ)
- 4、メンズウェアの企画から立ち上げについて (1 コマ)
- 5、企業におけるマーケティング活動 (1 コマ)
- 6、流行色解説 (2 コマ)
- 7、販売業務 (2 コマ)
- 8、ニューヨークコレクション情報 (1 コマ)
- 9、広告活動と広告戦略 (3 コマ)

評価方法・対象・比重

出席状況

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12423	科 名	インダストリアルマニシング 科	単 位	1 単位
科目コード	96812	科目名	コラボレーションb（自由選択）	授業期間	通年

担当教員（代表）：三田 清美	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

各自コンセプトに基づいたクリエイション性の高いデザインの表現力を向上させる。

授業概要＝テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- ・企業とのコラボレーションにより自己の可能性を発見し創造性の領域を広げる。
人と人との様々な繋がりや調和が必要となるため柔軟な人間力、コミュニケーション能力を
身につける。

評価方法・対象・比重

出欠、作品・商品制作及びレポート提出

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 三田 清美

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12423	科 名	インダストリアルマーチャンダイジング	単 位	4 単位
科目コード	97900	科目名	卒業研究・創作	授業期間	後期

担当教員(代表)：三田 清美	共同担当者：森山 裕果梨
----------------	--------------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

- ・ マーチャンダイジング計画（ブランド設定からプレゼンテーションまで）
- ・ ブランドのパイロット商品の開発（デザイン開発及び製品製作）

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

プライベートブランドⅢの企画とし、2016S/Sのマーチャンダイジング計画に基づき商品開発を行う。（56コマ）

1、デザイン・パターン・実物製作

2、卒業製作ショー

ショーの運営（企画からショー・展示の実施まで）

評価方法・対象・比重

制作物・出席状況

主要教材図書

参考図書 各種コレクション情報雑誌

その他資料 トワル仮縫い及び実物参考作品

記載者氏名